

令和7年度 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1)貸借対照表

令和8年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	335.7 億円 (▲ 24.6)	固定負債	154.3 億円 (▲ 9.8)
うち、土地	22.9 億円 (▲ 0.8)	流動負債	57.2 億円 (+ 6.5)
建物	128.2 億円 (▲ 4.9)	【純資産の部】	
器械備品	44.3 億円 (+ 4.1)		
投資有価証券	128.0 億円 (▲ 16.0)	資本金	108.6 億円 (± 0.0)
流動資産	66.0 億円 (+ 9.7)	資本剰余金	128.0 億円 (▲ 0.2)
うち、現金及び預金	16.8 億円 (+ 7.5)	繰越欠損金	▲ 46.4 億円 (▲ 11.3)
計	401.6 億円 (▲ 15.0)	計	401.6 億円 (▲ 15.0)

(2)損益計算書

令和7年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	295.7 億円 (+ 16.0)
営業収益	293.8 億円 (+ 16.4)
営業外収益	2.0 億円 (+ 0.0)
臨時利益	0.0 億円 (▲ 0.3)
費用総額	307.1 億円 (+ 13.0)
営業費用	288.7 億円 (+ 10.9)
営業外費用	18.2 億円 (+ 2.3)
臨時損失	0.2 億円 (▲ 0.1)
当期経常損失	▲ 11.1 億円 (+ 3.2)
当期総損失	▲ 11.3 億円 (+ 3.0)

(3)キャッシュ・フロー計算書

令和7年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	10.7 億円 (+ 0.1)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 0.0 億円 (+ 13.8)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 6.2 億円 (▲ 12.3)
IV 資金増加額	4.5 億円 (+ 1.6)
V 資金期首残高	9.3 億円 (+ 2.8)
VI 資金期末残高	13.8 億円 (+ 4.5)

(4)行政コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 損益計算書上の費用	307.1 億円 (+ 13.0)
II その他行政コスト	0.4 億円 (+ 0.0)
(1)減価償却相当額	0.4 億円 (+ 0.0)
III 行政コスト	307.5 億円 (+ 13.0)

※ ()内の数字は前年度との差額を表示

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和7年度純損失…………… ▲1,134,557千円 → +297,355千円(対前年度差額)
 (令和6年度純損失…………… ▲1,431,912千円)

- ・収益については、入院収益と外来収益がともに過去最高額となり、前年度比で約6.0%の増加となった。
- ・費用については、給与表改定による給与費の増加、物価高騰や診療内容の変化による材料費及び経費の増加により、前年度比で約4.0%の増加となった。
- ・収支差については、運営費負担金の会計処理方法の変更等により、前年度より赤字額は減少したが、4年連続の赤字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7/R6	参 考
収益	270.7	273.6	271.2	279.7	295.7	106%	診療単価 (R6) (R7)
営業収益	267.1	270.9	269.1	277.4	293.8	106%	入院(重心以外) 98,742円 → 100,709円
うち入院収益	172.0	170.7	173.7	176.9	182.4	103%	入院(重心) 38,780円 → 42,386円
うち外来収益	64.5	66.3	68.7	74.7	78.0	104%	外来 21,739円 → 22,824円
うち運営費負担金	15.8	16.7	17	17.6	17.2	98%	
うち資産見返負債戻入	1.0	1.1	1.2	1.0	5.7	570%	
うち補助金収益	8.6	10.4	3.3	1.2	4.2	350%	患者数 (R6) (R7)
うち重症心身障がい児施設収益	1.7	1.4	1.8	2.4	2.8	117%	入院(重心以外) 178,623人 → 180,464人
営業外収益	2.2	2.2	2.1	2.0	2.0	100%	入院(重心) 3,710人 → 4,134人
うち運営費負担金	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	100%	外来 343,568人 → 341,346人
臨時利益	1.3	0.5	0.1	0.3	0.0	0%	
費用	263.5	276.8	287.1	294.1	307.1	104%	一般病床利用率 (R6) (R7)
営業費用	248.9	258.6	266.6	277.8	288.7	104%	重心以外 82.9% → 83.8%
うち給与費	118.3	123.5	125.7	129.6	131.4	101%	重心 33.9% → 37.8%
うち材料費	73.6	73.5	76.9	81.2	89.1	110%	
うち経費	36.3	39.9	38.6	40.2	41.0	102%	
うち減価償却費	15.8	15.8	19.9	21.3	21.6	101%	
うち重症心身障がい児施設費用	3.7	4.7	4.2	4.0	4.3	108%	
営業外費用	13.2	17.7	18.7	15.9	18.2	114%	
うち支払利息	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	100%	
うち控除対象外消費税等	11.7	16.3	16.7	13.9	14.2	102%	
うち有価証券売却損	-	-	0.7	0.8	2.7	338%	
臨時損失	1.4	0.5	1.8	0.3	0.2	67%	
収支差	7.2	▲ 3.2	▲ 15.8	▲ 14.3	▲ 11.3	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

- ア 営業収益
- うち入院収益 (5.5億円増) 高額手術患者、入院化学療法患者の増加によるもの
 - うち外来収益 (3.3億円増) 化学療法患者及び放射線治療患者の増加によるもの
 - うち補助金等収益 (3.0億円増) 賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金等によるもの
 - うち資産見返負債戻入 (4.7億円増) 会計処理方法の変更によるもの
- イ 営業費用
- うち給与費 (1.8億円増) 給与表の改定(ベースアップ)によるもの
 - うち材料費 (7.9億円増) 化学療法等の高額薬剤の増加、手術材料の増加によるもの
 - うち経費 (0.8億円増) 委託料の増加によるもの
- ウ 営業外費用
- うち控除対象外消費税等 (0.3億円増) 設備投資(サイバーナイフ、心臓カテーテル室増設等)によるもの